

No.1661

第1662 回例会

2015年3月13日(金) 12:30～13:30
点鐘

ロータリーソング “我等の生業”

会食(洋食)

会長会務

*ビジター紹介。

*東日本大震災発生により4年が過ぎましたが、鳥取県においても災害時における木造応急仮設住宅の建設に関する協定が、関係団体と3月23日に調印予定であり、将来におこることを予想して備えていくこととなり、気が締まる思いです。

会員の皆様も日頃の備えに心がけましょう。

*3月7-8日と会長エレクト研修セミナー(PETS)に出席されました金田卓也副会長さん、ご苦労様でございました。

*3月の誕生祝を差し上げます。

加藤一吉 平井義一 山村保雄の各会員
バースディソング斉唱

幹事報告

*重ねてお知らせします。次週の例会は3月16日(月)東部5RC合同例会です。18:30～鶴の間です。3月20日(金)例会は休会となりますので、ご注意下さい。また、ご欠席の方はメーカーキャップにご協力願います。

*理事会報告。

*例会後、クラブ奉仕委員長会議を開催いたします。

委員会報告

*親睦活動・出席委員会

出席率・スマイル報告

*その他

卓話「PETSの報告」

副会長 金田卓也さん

先週(第1661 回例会)の記録

2015年3月6日(金) 12:30～13:30

会長会務

3月になっても三寒四温で寒い日が続きます。

早いもので、来週で東日本大震災から4年を迎えます。マグニチュード9.0の大きな地震で、東北3県をはじめ甚大な被害が発生しました。地震による揺れはもとより、40mを超えるような巨大津波が発生し、街自体が消え、原発の放射能漏れなど、被害も多岐にわたりました。今現在でも23万人の方が避難生活を強いられており、まだまだ、復興というわけにはいかないようです。

そんな中で、朝日新聞などにこんな記事がありました。除染が進み人が町に入れるようになり道路が整備されても、実際には、人材や設備が足りず、家の解体に1年、家を建てようとしても数年待ちという状態だそうです。地方の小さな工務店であれば、1年間に10棟の新築工事が精一杯ですが、何千棟という建物をあのエリアに建てていくということはとても大変なことです。

そこで、安価な人材確保のために、簡易宿舍の建設などを検討していますが、復興省では、これに対する補助は出せないという考えだそうです。基本的に、被災者復興にのみ、補助が出せるということで、少し、お役所仕事の感覚で残念に思います。この記事を見ながら、早い復興を改めて願いました。

幹事報告

*ガバナー事務所より、

①ローターアクト第38回地区大会本登録のご案内。日時:5月9～10日。鳥取県大山町にて。希望者は事務局まで。

②米山奨学生歓送会出席のお礼状。

*例会変更のお知らせ

鳥取中央 3月30日(月) 夜間例会
ビジターの受付は、定時定例会場にて

*4月26日合同IMの登録料8,000円を来週、集めさせていただきます。

*青少年育成鳥取県民会議より、広報誌と青年の主張発表文集が届いています。回覧致します。

*配布物 ロータリーの友3月号、ガバナー月信 NO. 9。

出席率

3月 6日 会員50名 欠席10名 80.00%

2月20日 メーキャップ 4名 86.00%

ビジター 1名 鳥取RC

メーキャップ会員

3月1日 山田 正会員 米山奨学生歓送会

(岡山)へ

3月2日 吉田 博会員 鳥取中央RCへ

スマイル

*谷口譲二様(鳥取RC) /久しぶりに伺いました。よろしくお祈りします。

*山下卓治会員 / ①小川住職様、本日の卓話よろしくお祈りします。②結婚35年になります。ありがとうございます。

*金田卓也会員 / ①小川で住職様、本日はお世話になります。②明日と明後日、岡山にPETSで行ってきます。勉強してきます。できれば、山下会長にもう1回どうですか(代返してください)。

*岡本安量会員 / ①小川住職様、本日はよろしくお祈りします。①田中先生、アドバイスありがとうございます。

*坂本 直会員 / 小川住職様、本日の卓話、どうぞよろしくお祈りします。

*宮本孟尚会員 / 小川様、お世話になります。

*林 壽延会員 / 3月に入りましたので。

*吉田 博会員 / 本日の食事は、100万ドルミールです。皆様のご協力に感謝いたします。

*徳吉公司会員 / 前に出てしゃべるので。

*麻木宏栄会員 / 結婚記念日。

*早退 4件・無断欠席 1件

合計24,000円

*ロータリー財団寄付: 2件

*米山特別寄付: 2件

雑誌委員会 徳吉委員

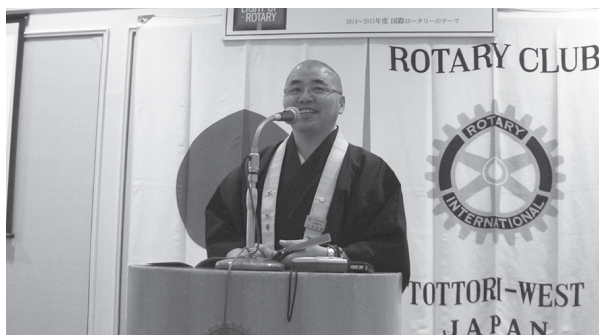
ロータリーの友3月号紹介。

表紙はカワセミです。オスの嘴は全体的に黒色ですが、メスは下の嘴が赤色をしています。

卓話「上品(じょうほん)の生き方のすすめ」

観世音山 圓通殿 相應峰寺

住職 小川弘眞氏



私は教員の現職中に、仏の教えに出会い、これをお子たちに伝えなくてはと感じ、気が付けばお寺の住職になっていました。私はなぜこの世界が好きかといいますと、「真理」を言っているから

です。人の魂の中には、そうならなければいけないというものがあり、それを突き詰めると仏の教えに通じます。教員をしながらお寺通いをし、その後、住職を目指すため教師を休ませていただき比叡山に修行に行きました。

修行は、逃げ出したくなるほど厳しいものでしたが、子供たちがいてくれたので続けることが出来ました。子供から、「脳梗塞で倒れた中学3年生の女の子を助けてくれんか」という手紙が来ました。自分が住職になって祈願ができるまで、何とか生きながらえてくれと願いながら修行を続け、お寺の住職になりました。

最近の教師や政治家は、口ではきれいごとを言うが、全然動かない。私は、大型2種の免許を持っています。教師をしていたころ、よく子供を連れて合宿に行きましたが、安心して保護者が私に子供たちを預けられるように、この免許を取ることが必要になりました。しかし、8回試験に落ち、もうやめようと思い学校に帰ってきました。当時、不登校や、中学で留年してしまった5人の子供たちを担当していますが、一人の男の子が、「先生、人生いろいろあるよ」「次は通るんちゃうか」と言いました。単純な私は、もう一度願書を出しました。その後、内申書1の子供たちでしたが、何とか高校入試に合格し、それを見届け私も何とか試験に合格しました。ですから、私は、この免許を非常に大事に思っています。口だけではなく、行動しなければダメということです。上品とは、口だけではなく、徹底的に行動することです。

人間の肉体は滅びるけれど、魂は生きていて感じるがありました。会津若松に旅行に行こうと思い立ちましたが、下見も本番も、1年に1、2回しかないお葬式が急に入り、結局中止になりました。1年後、寺に横浜から女性が来られ、言うには、ある宮司さんに前世を見てもらうと、「浜か坂の地名が付いた海の近い場所にお寺があるのと、六文字の文字が見える」と言われ、わざわざここまで来たということでした。そこで、一緒に墓地に行くと、無縁仏の墓の中に、その六文字と戒名がピタリ同じ墓がありました。次の年、その宮司さんと一緒に来られましたが、その時、宮司さんから「あなたの前世は、尊王の志士で官軍です」と言われました。なるほど、私は、会津から嫌われていると思い、8年ぶりに謝りに行ってきました。魂は存在します。

仏壇は亡くなる時に持つのではなく、独立したときに持ちます。仏教は、亡くなった人のためではなく、生きている人が迷った時に、損得や勝ち負けではなく、仏様の教え、真理に基づいて何が正しいのか気が付くためにあるものです。

次週例会予定

2015年3月16日(月) 第1663回例会

東部5RC 合同例会 18:30~ 鶴の間

(編集者 山下聖児)